科目名	専門演習Ⅱ　　Seminar II						
科目担当者	白石 敬晶　　SHIRAISHI Takaaki						
単位数	4	配当年次	３年	授業形態	演習	開講学期	通年
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　演習］ 他学部他学科履修×					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)

授業の概要

下記に指定した書籍を輪読し、内容を担当者がまとめ発表する。発表に対する質疑を行い内容についてはMoodleを使って、毎回のレポートとして提出する。
またビデオ教材を使い、その日に視聴した内容について質疑を行った後、まとめる。
Moodleを使って、毎回レポートとして提出する。（ビデオ教材はテーマの動向に応じて変わる可能性あり）
毎回ゼミの最後にタイピング練習サイトを利用して、タイピング練習を行う。
https://www.e-typing.ne.jp/roma/check/

授業の到達目標

① 発表者としては担当箇所を手際よくまとめPower Pointのスライドにまとめ、わかりやすいプレゼンテーションを行うことができる。
② 聴講者としては、プレゼンテーションを的確にまとめレジュメとして提出できる。
③ ビデオの内容をもれなくコンパクトにまとめる
④ タイピングを自己ベスト＋５０ポイントを目指す。

授業計画・内容

1	ガイダンス	16	より応答的な民主主義
2	９・１１と３・１１―私のショック・ドクトリン	17	「デイリー・ミー」を読む私
3	さらに邪悪な者たち	18	「他者」に出会う必要性
4	ナオミ・クライン『ショック・ドクトリン』との出会い	19	地球を救う街は都市収容所！？
5	マイナンバーという国民監視テク	20	マーケティングされる選挙
6	コロナ禍が大チャンスだった	21	「商品」としての政治家
7	マイナ保険証はここが危ない	22	環境に優しい生き方が強制される！？
8	命につけられる値札	23	最高法規性が軽んじられた不幸
9	コロナショック・ドクトリン	24	個人情報保護法の死文化
10	感染症ショック・ドクトリン	25	GDPRの先端的な規定
11	健康をお金に換える錬金術師たち	26	アメリカの方向性
12	すべての国民は個人として尊重される	27	憲法論の必要性
13	脱炭素ユートピアの先にあるディストピア	28	自己情報コントロール権を「鍛える」
14	操作的ネット広告への対抗	29	心構えとしての「個人主義」
15	マイナポータルの闇	30	本当に恐れなければならないもの

授業外学修（事前学修）

次週のテーマについてインターネット等で概要を調べる（毎週2時間程度）

授業外学修（事後学修）

当該週のテーマについて新聞やテレビでどのように報道されているか調べる。（毎週2時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応

成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
質疑の内容	40%	①　、②、③
レポート	50%	①　、②、③
タイピング	10%	④

成績評価基準

秀：（評点90点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合
優：（評点80点～89点）到達目標を高い水準で達成している場合
良：（評点70点～79点）到達目標を一定の水準で達成している場合
可：（評点60点～69点）到達目標を最低限の水準で達成している場合
不可：（評点60点未満）到達目標に達していない場合

教科書

「堤未果のショック・ドクトリン　政府のやりたい放題から身を守る方法」(幻冬舎新書)
堤未果（著）

参考文献

その他

ノートパソコン必須